

会報



# シルバー旭川

(題字/石崎閑雲)

発行所：公益社団法人 旭川市シルバー人材センター

〒070-0902 旭川市春光町3639番4 TEL (0166)51-1600 FAX (0166)55-2537 <http://www.asahikawa-silver.jp>



神楽岡公園 (T.Okabe)

### 今月の主な目次

理事長挨拶・総会報告 .....	2	草刈業務安全講習会 .....	8
総会に寄せられたメッセージ .....	3・4	令和4年度の事故報告等 .....	9
永年継続就業会員表彰受賞者 お礼の言葉 .....	5	賛助会員・事務費等の変更 .....	10
安全就業宣言・シルバー人材センターが抱える課題 .....	6	トラブルを防止するために	
新しく選任された理事		かたくりの会・令和5年度旗波運動 .....	11
令和5年度理事会部会構成と役割 .....	7	就業相談日・事務局体制・編集後記 .....	12

## 全国統一安全就業スローガン

### 安全は

### 無理せず 焦らず 油断せず

### 会員数(人)の動き

	男	女	合計
令和3年3月	564	229	793
令和4年3月	590	242	832
令和5年3月	605	242	847



## 令和5年度の スタートにあたって

理事長  
中島 哲夫

去る5月25日(木)に開催されました令和5年度の総会は、新型コロナウイルスが感染症5類に移行された直後であり、少人数のご出席でありましたが、無事に終えることができました。

厳しい環境下でご参加いただきました会員の皆さまに、心からお礼申し上げます。

令和4年度の事業実績は、前年対比1,500万円のプラスとなり、事業が従来状況に戻りつつあり、会員皆さまのご尽力にお礼申し上げます。

安全就業では、物損加害事故が例年になく多発した1年でありましたが、人身事故に係る重篤災害は一切なく、胸をなでおろした年でした。これは会員皆さまの日常におけるご努力の賜物であり、心から敬意を表します。

しかし、他のセンターでは飛び石が通行人の目にあたり失明した事例。ホームタンクの管を切っけてしまい490ℓの灯油を垂れ流し、1千万円の損害賠償の事例と、一步間違えれば明日は我が身と思われ、刑事事件にも発展することが予想されます。

是非他人事と思わずに、「安全は何事にも優先」を徹底いただきますようお願いいたします。

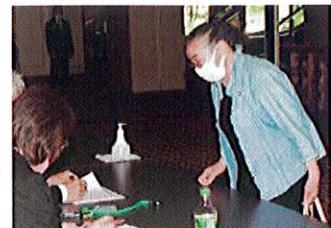
今年10月から「インボイス制度」が、明年10月から「フリーランス新法」の施行、そして「請負契約の見直し」と立て続けに改変が押し寄せてきます。

どれをとっても我がシルバー人材センターにとって厳しく、会員皆さまの大きなお力なくして乗り越えることはできません。

一層のご支援、ご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

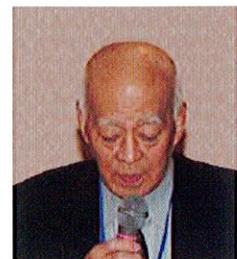
## 定時総会報告

令和5年度の定時総会が、5月25日(木)、午後2時よりアートホテル旭川において開催されました。新型コロナウイルスが5類に移行されたとはいえ、まだ安心できない状態です。会場でアルコール消毒に併せて参加者の制限もさせてい

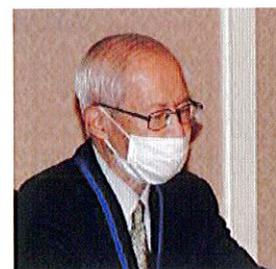


たきました。

会場には、45名の出席者があり、委任状の609名を併せて、654名となり、総会が成立したことを事務局長より報告がありました。また、ご来賓の参列につきましても、昨年度と同様メッセージを頂きました(次頁より掲載しております)。



会に先立ち、令和4年度中にお亡くなりになった会員への黙祷を捧げました。その後、開会宣言があり、理事長の挨拶と続きました。議長には、木林啓爾副理事長が選出され、議事に入りました。



議案第1号「令和4年度事業報告」、議案第2号「令和4年度決算報告」に続いて、鎌田監事より「監査報告」が行われました。続いて議案第3号「役員を選任」が行われました。理事には、新しく選任された2名を加え14名、監事には2名承認を含め全てに承認をいただきました。

報告事項の「令和5年度事業計画」、「令和5年度予算案」の説明がなされました。全てにおいて、質疑無く全員一致で承認されました。

総会は、15時00分に終了しました。



本来ならば、各方面からの来賓をお迎えし、ご挨拶をいただくところですが、今回の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い「メッセージ」をいただきました。

北海道上川総合振興局  
局長 佐藤 昌彦 様

旭川市長  
今津 寛介 様

公益社団法人旭川市シルバー人材センター令和5年度定時総会の開催を心からお喜び申し上げます。

中島理事長をはじめ、皆様方には、日頃から道行政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

旭川市シルバー人材センターにおかれましては、昭和55年の設立以来、「自主・自立、共働・共助」の理念のもとに、働くことを通じて社会参加の輪を広げ、地域の活性化に多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

本道経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類見直しなどにより、経済活動の再開に向けた明るい兆しが見られるところですが、人口減少や少子高齢化の進行に加え、エネルギー・原材料価格の高騰などにより、大きな影響を受けており、力強い社会・経済の構築に向けて、本道を支える人材の確保が重要な課題となっております。

こうした中、豊富な知識や技能を持った高齢者の方々が、就業を通じて社会に参加し、年齢に関わりなくその能力を十分に発揮できる「生涯現役社会」に向けて労働環境を整えていくことが求められており、シルバー人材センターは、これまで以上に大きな役割を果たされていくものと考えています。

道では「北海道雇用・人材対策基本計画」のもと、道民の皆様が、それぞれのライフステージに応じて、その経験や能力を発揮しながら、将来に希望を持って働き、豊かで安心して暮らせる社会の構築を目指して取り組んでおり、今後とも、意欲のある高齢者の皆様、その能力を十分に活かして働き続けることができるよう、関係機関の皆様と連携しながら、高齢者の雇用に係る機運の醸成を図ってまいります。

皆様方におかれましても、高齢者の皆様の生きがいの充実や社会参加の推進に向け、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、旭川市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げ、お祝いのメッセージいたします。

公益社団法人旭川市シルバー人材センター令和5年度定時総会の開催を心からお喜び申し上げます。

貴センターにおかれましては、目まぐるしく変化する社会経済環境に対応しながら、会員である高齢者の方々への就業機会の確保など、特徴のある様々な取組を展開され、生涯にわたって生き生きと暮らせるまちづくりに格別の御尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、三年間にわたって続いた多方面の制約が解除され、本格的に社会経済活動が再開することにより、貴センターの活動も活発化してきていることと思います。

さて、本市の状況は、令和5年5月1日現在で65歳以上の人口が35%となっており、今後、更に少子高齢化が進行していくことが予想されております。

誰もが健康で豊かに生き生きと暮らすことのできる「健幸」なまちづくりを推進していくためには、地域を支える力となる高齢者の方々の活躍が益々期待されているところであります。

貴センターには、高齢者の方々の就業機会の創出や社会参加への支援などに大きな役割を果たしていただいております、高齢者の方々が、働くことで地域社会とつながり、生きがいをもって充実した暮らしを送れるよう、更なる会員拡大や積極的な事業展開に期待を寄せているところであります。

市といたしましても、高齢者の方々の就労や社会参加を一層進めるため、市が運営する「旭川まちなかしごとプラザ」内に貴センターの臨時窓口を開設していただいたところであり、今後も会員拡大の取組への支援など、更なる連携を図ってまいります。

結びに、旭川シルバー人材センターの限りない御発展と、会員の皆様方の益々の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

## ハローワーク 旭川公共職業安定所 所長 杉本 真一 様

公益社団法人旭川市シルバー人材センターの令和5年度定時総会の開催にあたり、心からお祝いを申し上げます。

また、定時総会にご出席の方々、会員の皆様におかれましては、日頃よりシルバー人材センター事業の運営をはじめ、高齢者の雇用・就業対策につきまして、深いご理解とご尽力を賜っていることに厚くお礼申し上げます。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響の下、ハローワークではこの間、事業の継続や労働者の雇用維持に懸命に取り組む企業への支援として、雇用調整助成金等による支援や離職を余儀なくされたの方々に対するきめ細やかな就職支援、公共職業訓練を通じた再就職支援等、雇用と暮らしの安定に取り組んできました。

令和5年3月のハローワーク旭川管内の雇用失業情勢は、有効求人倍率が1.07倍となり17ヶ月連続で前年同月を上回り推移するとともに、高止まりしていた有効求職者数は、昨年7月以降9ヶ月連続で前年同月を下回り、コロナ前の状況に近づきつつあると捉えています。

業種別の求人の状況は、建設業や運輸業、卸売・小売業、医療・福祉業において恒常的に採用活動が高水準であり、特に宿泊業においては国際線空路の再開や宿泊需要の上昇を受け、採用活動が活性化しております。

なお、令和5年3月の北海道労働局公表の雇用失業情勢にかかる基調判断は、「道内の雇用情勢は、緩やかに持ち直しの動きがみられる。今後とも、物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。」としています。

今、本道においては全国を上回る速さで少子高齢化が進行しておりますが、働く意欲がある高齢者が活躍できる社会を実現することが重要な課題となっており、このような中、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に定める雇用確保措置や就業確保措置の周知・啓発指導、高齢者雇用に積極的に取り組む企業への支援、65歳を超えても働くことを希望する高齢求職者に対する再就職支援等の強化が必要です。

このため、多様な就業機会の確保や地域の労働力需給調整機能の効果的な運用が求められますが、旭川市シルバー人材センターにおかれましては、設立以来、高齢者の雇用・就業対策の一翼を担い、高齢者の方々の多様なニーズに応じた就業機会の提供など、高齢者の方々の就業を通じた社会参加に貢献されており、深く敬意を表する次第です。

働く意欲のある誰もが年齢にかかわらず、その能力を十分に発揮できる「生涯現役社会」を実現するために、ハローワークでのきめ細やかな就職支援に加えて、シルバー人材センターへの誘導や関係機関との連携により、高齢求職者の多様な就業の実現を図る所存です。

結びとなりますが、旭川市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様や役員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

## 北海道シルバー人材センター連合会 会長 下村 英敏 様

旭川市シルバー人材センターの令和5年度定時総会の開催にあたり、北海道シルバー人材センター連合会会長として心よりお祝い申し上げます。

近年、シルバー人材センターを取り巻く環境は、めまぐるしく変化してきておりますが、とりわけ3年余にわたるコロナ禍による社会、経済、生活への影響は非常に大きく、シルバー事業につきましても、会員確保や就業機会確保をはじめ、取組全般にわたって困難な状況が今なお続いております。また、10月からは消費税のインボイス制度の運用が始まりますので、私どもにとって、まさしく正念場を迎えようとしております。

このような中であっても、貴センターにおかれましては、シルバー事業における基本理念であります「自主・自立、共働・共助」のもと、役職員、会員が一丸となってシルバー事業を推進するための着実な努力を日々重ねられておりますことに深甚なる敬意を表します。

高齢化が急速に進展して行く中で、働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし年齢にかかわらず活躍できる「生涯現役社会」の実現の重要性が高まっております。

具体的には、生産年齢人口が減少する中で人手不足分野を中心に高齢者の労働力が必要とされておりますし、また、「福祉・家事援助サービス事業」、「介護予防・日常生活支援総合事業」、「放課後児童クラブにおける育児支援」など現役世代を支援する分野におきましても高齢者の労働力、特に女性会員の活用が求められております。

新型コロナウイルス感染症は5月8日から感染症法上の位置づけが変わり、社会、経済活動の活性化の動きが強まることが見込まれる中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に寄与するシルバー人材センターの役割と期待は益々大きくなっていくものと認識しておりますが、その期待に応えていくために、当連合会といたしましては、貴センターとの連携を密接に図りながら、シルバー事業を積極的に推進しつつ、現下の難局を乗り越えてまいりたいと考えております。

結びにあたり、貴センターの益々のご発展と、ご参会の皆様の一層のご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げ、祝辞といたします。

おめでとうございます

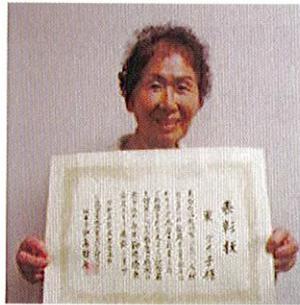
# 永年継続就業会員表彰受賞者

荒虫 雄孝	玉田 守	日下 洋子	猪狩 金七	千葉 幸男	村井 清治
山本 耕一	種房フサ子	小山内洋輝	清野 信一	小林 英敏	内藤 浅子
溝口 勝一	太田サナエ	高瀬 秀勝	麓 栄二	東 アイ子	西山 一男
内田美代子	伊藤 俊勝	畠 ヨシ	鈴木 彰	山澤 豊	佐々木聰允
武田 勝				25名	(敬称略)

【永年表彰受賞の条件】① 令和5年3月31日時点で80歳以上  
 ② 5年以上シルバー会員在籍（平成29年3月31日までの入会者・令和3年度正会員として会費納入）

## お礼の言葉

前を向いて  
 老後を楽しむ  
 東 アイ子



## お礼の言葉

ありがとう  
 ございます  
 溝口 勝一



事務局から永年勤続表彰のご連絡を頂いて、早、10年とは驚きと身の引き締まる思いです。

いつもお世話になっております事務局の皆様にお礼申し上げます。私は、主に掃除の仕事をしています。仕事を終わると、「お疲れさま」「ありがとう、又よろしくね」と言って頂いた時、お役に立てた喜びを感じます。

日頃利用者さまのご健康を願っていることと、自分の健康にも気を付けています。

健康づくりの3要素は、

- バランスのよい栄養、楽しい食事
  - 無理なく適度な運動をする
  - よりよい休養と睡眠
- です。

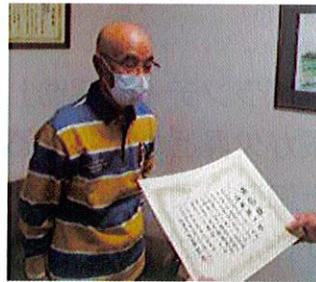
楽しいことを見つけ前向きに生きる。老いても必ず役に立つ！！をモットーに頑張って参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ふとしたご縁から、シルバー人材センターにお世話になり、表彰とのお話に15年の月日を経たことを実感しました。

身体を動かすことが好きで、勤めさせていただき、自分自身も勉強させていただき、沢山得ることも多く、心から感謝申し上げます。

渾沌としている世の中ではありますが、未来が平穏でありますよう願ってやまないのですが…。一日一日を大事に過ごしたいと思えます。

前後しましたが、理事長様はじめ皆様、本当にありがとうございます。



## 安全就業宣言

シルバー人材センター事業は、超高齢化が急速に進む中、会員の豊かな経験と知識を活かし、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、日常生活に密着した仕事を通して多くの市民から期待されてます。

それに応えるためには、会員の皆さんが安全で安心して就業できる環境づくりが大切です。

「安全は全てに優先する」を合言葉に、慣れと油断と過信を払拭し、「自分の安全は、自分が守る」という意識を持ち、事故の危険予知と撲滅に向かって対策を講じ、健康維持と安全確保を図りながら、「事故ゼロ」を目指し、安全就業に努めることを宣言します。

令和5年5月25日

公益社団法人 旭川市シルバー人材センター

## 旭川シルバー人材センターが抱える課題について

ご理解とご協力をお願い致します。

「各地区ボランティア」「各地区研修会」については、新型コロナウイルスの拡大防止対策として令和2年度以降、4月に行われていた「班長・副班長会議」及びその後に設けられる「地区長会議」を中止してまいりました。

今年度、新型コロナウイルスの分類がインフルエンザ相当の5類に移行されました。このことにより、社会的な活動も通常に戻りつつあると思われれます。旭川市においては、6月3日に行われた音楽大行進や6月4日から行われた護国神社祭、更には9月16日から開催予定の食ベマルシェと従前に行われていた行事等が再開されております。

また、昨年度は、3年間実施できなかった「交通安全旗波運動」も120名の参加者を頂き実施することができました。

しかし、上記の「各地区ボランティア活動」や「各地区研修会活動」については、現在数地区の班において地区長、班長が欠員となっていることから、活動の実施が難しい地区があります。このシルバー人材センターにおいて「班長・副班長会議」や「地区長会議」は、会の自主的・自発的・創意的な活動を行っていく上でも重要な組織です。

今後、班の活動や組織の在り方など、役員会で議論をしていくことを確認したところであります。意見がまとまり次第、会員の皆様のご協力をお願いすることになります。その際には、よろしくお願い致します。

また、ご意見やアイデア等ございましたら、議論の参考とさせていただきますので、事務局宛にご連絡いただければ幸いです。

## 新しく選任された理事・監事

令和5年度の総会で新理事として承認された方々です

【五十嵐 美沙子 さん】

理事会の部会では、「自主・自立、共働・共助」で、就業の開拓や会員の勧誘などについての協議にお力添えをお願いします。



【多田 博 さん】

理事会の部会では、「安全就業」の部会に参加して頂き、当センターの安全就業に関わっての協議にお力添えをお願いします。



## 令和5年度 理事会の部会構成と役割分担

部 会	各種委員会・主な活動	理事名	部 会	各種委員会・主な活動	理事名
自主・自立 共働・共助 部 会	「就業開拓・適正化委員会」 ・就業開拓の推進 ・会員の勧誘 ・新制度及び見直し対応 ・会員能力向上	岡部 正 佐藤 徹 柏倉 光 押村 幸雄 五十嵐美沙子 担当 事務局長	調査・広報 部 会	「会報編集委員会」 ・会報「シルバー旭川」の発行 ・普及、啓発活動 ・会員の意見、要望等の収集	岡部 正 近藤 初美   担当 事務局次長
		石川 玲子 山内 悦子   担当 事務局次長			安全就業 部 会

旭川市シルバー人材センター

まずは、見学から始めませんか?!

**独自事業**

どんな雰囲気の教室なのか?どんな授業なのか?  
実際にご覧いただいて受講をお決めいただけます(見学は無料)

**いきいき英語教室**

**わくわくパソコン教室**

開催日：毎週金曜日 10:00~12:00  
月謝：1,500円

開催日：毎週火曜日 10:00~12:00  
月謝：1,500円

英語に親しみ、楽しむ教室。簡単な英会話まで  
※旭川市内にお住まいで60歳以上の方に限ります。会員以外の一般の方でも受講できます。

初心者パソコン教室、エクセル、ホームページ



# 令和4年度の事故

令和4年度中に就業中に生じた事故です。

令和4年度の旭川市シルバー人材センターの就業中に生じた事故は、17件でした。「傷害事故」は、「落ちていた釘にチップソーが当たってセンター作業員の背中に刺さった。」「草刈鎌で手を損傷」「ハチに刺された」「作業中に目をこすり擦り傷」の4件でした。これに対し「賠償事故」は、13件になります。

## 「損害賠償事故」

昨年度は、「保険対応分（免責を含む）」事故は、最大の賠償で22万円以上、合計67万円を超えています。また、「保険対応分（免責を含む）」事故で最大の賠償額は2万円で、合計は約10万円になっており、両方を合わせると77万円を超える賠償額となっています。

### 事故の概要

- 飛び石事故（6件）「飛び石で車のガラスを破損した事故」
- キックバック事故（3件）「チップソーのキックバックで、アース線、外壁などを傷つけた事故」
- その他
  - 「境界を越え隣の樹木を伐採した」
  - 「草刈作業中隣のブロック塀を傷つけた」
  - 「車を後退させたとき駐車中の車に衝突した」
  - 「樹木の剪定で発注者の思い通りに剪定ができなかった」



- ★ どのような事故でもその原因を探り、事前の予防策に取り入れることが大切です。
- ☆ 就業前の指さし確認、ダブルチェックを含め、作業内容に応じた必要人員の確保および作業手順なども確認することが大切です。また、発注者との事前の詳しい打合せなども欠かせません。
- ☆ 「このぐらいなら」「間に合うだろう」等の予断は、事故を誘発する原因になります。「危機管理」は、最悪のことを想定して準備・対応することが大切です。

## 安全就業の推進と安全対策用具の貸し出し

事故の発生を1件でも減らすために、安全・適正就業委員会が中心となって「安全点検実施表」（除草、草刈、剪定、冬囲い、除雪、雪下ろし、冬囲い外し等）を作成して、事務所に用意してあります。是非活用してください。

### 安全就業ワッペン

就業の際は必ず付けて安全優先でお仕事しましょう！！



### 緊急時の連絡先を

緊急時に連絡がとれる、家族や知人、携帯、病院等ワッペンの裏に記入してください。

危険を伴う作業（「労働安全衛生規則」等で規定）では、安全保護帽（ヘルメット）の着用が義務づけられています。また、草刈り作業では、防石ネットを用意せずに、飛び石等の事故が起こっております。草刈り作業には、必ず防石ネットを用意し二人以上で作業を行ってください。

事務所には、「安全保護帽」「防石ネット」「草刈り機」「安全ベスト」を用意しております。必要に応じて貸し出してありますので、使用する場合は申し出てください。



# 旭川市シルバー人材センター 賛助会員

会社名	会社名
1 (株)北海道銀行旭川支店	12 旭川トヨタ自動車(株)
2 旭川信用金庫北星支店	13 旭川トヨペット(株)
3 日本ハム北海道ファクトリー(株)	14 (株)道北アークス
4 旭川信用金庫	15 (有)仏壇駒形屋
5 新谷建設(株)	16 旭陽電機(株)
6 北海道護国神社	17 (株)北海道フェンス工業旭川
7 (株)あいわプリント	18 山室繊維(株)
8 (株)アサミツ商販	19 (株)トヨタレンタリース(旭川)
9 (有)三省堂印刷工業社	20 (株)只石組
10 有光農機旭川販売(株)	21 日東石油(株)
11 (有)かとう印刷	22 植平印刷(株)

令和5年3月現在(順不同 敬称略)

## 事務費の改定について

令和5年度より「事務費」が12%になります。就業報告書記入の際、お間違えの無いようご注意ください。



令和5年度より旭川市シルバー人材センターの運営事務費が2%上昇します。お間違えの無いようご注意ください。

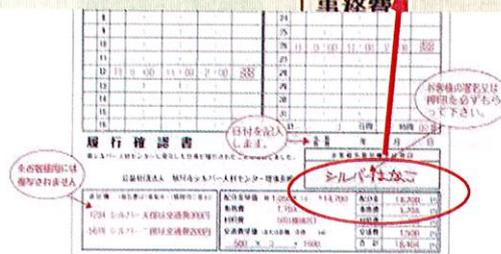
## 報告書の事務費計算 お間違えのないように

×	=	配分金	1,000円
		事務費	12% 120円
		材料費	1,500円
		交通費	200円
		合計	2,820円
往復	(km)		

## 就業報告書について

一昨年度より「就業報告書」が変更になり3枚複写となりました。今年度は、報告書(事務局提出用[黄色])の下段にはお客様の確認印か署名(サイン)が必要となりました。署名又は確認印は、3枚の全てにお願いします。

計	日間	時間	分
令和5年	西暦	年	月 日
した。お客様名署名欄又は押印			
お客様のご署名か確認印 どちらかを必ず!!			
3枚とも 必ず!	配分金		円
	事務費		円



※1日の仕事で1枚の就業報告書を提出してください。複数日就業の場合でも就業報告書は1通にまとめてください。

公益社団法人 旭川市シルバー人材センター



トラブルを防止するために

# 一人ひとりが責任ある行動を!

～就業はセンターの規定にそって～

**直接仕事は引き受けない!!**

会員が、発注者から直接受注し、仕事が終わった後、発注者からその場で受け取るケースです。

事務局は、発注者から会員に適した仕事を請負・委任の形式で引き受けます。その後、事務局から会員に提供しその会員が就業するという手順になっています。会員が発注者から直接受注した場合、

①万が一、事故で相手に損害を与えたり自分自身が怪我をした場合でも、シルバー人材センターで受託した仕事でないことから保険の適用とならない。

②相手から、会員の行った仕事に関連した苦情がセンターに寄せられた場合でも、センターとして責任がとれない。

ということになります。

また、事後報告という形で会員から事務局に「就業報告書」が提出されてくる場合も、上記と同様の扱いとなるので注意してください。

ですから、会員が直接就業依頼を受けた場合には、作業前に会員からシルバー人材センターへ連絡してもらったことが大切です。

**直接仕事を引き受けることは、絶対に慎んでください!**

会員の一人一人が、組織の一員となって運営しているのが「シルバー人材センター」です。「このくらいなら許されるだろう。」「自分一人くらいなら、大丈夫だろう。」などという安易な行為が、会員や事務局に迷惑をかけることになるということをしっかり心に留めておいてください。

## かたくりの会

「趣味と生きがい」(作品発表・交流会)

新型コロナウイルスが5類に移行され、少し落ち着いた雰囲気が見え始めています。

今年度も、生き甲斐活動の一環として、趣味を生かした作品づくり等をされ時間を有意義に生かして様々な作品を作成している方々がいらっしやいます。

それらの作品の発表の場をシルバー人材センター事務局2階において開催予定です。

日時：令和5年9月14日(木)

近日、募集案内を送付致しますので、それまでに皆様!! 作品をあたためておいてください。

よろしくお願ひいたします。



## 「旗波運動」開催予定

コロナ禍でなかなか実施できなかった「旗波運動」も、昨年度は会員120名の参加で、実施致しました。今年度も、下記日程で「旗波運動」を実施致します。

日時：令和5年9月26日(火)

11:00~

場所：旭川護国神社前

是非多くの会員の参加をお願い致します。



# 就業相談日のご案内

「就業に関する相談日」  
を開設しています。就業に  
関する相談のある方はお気  
軽にお申し込みの上、お越  
し下さい。



時間等の調整のため事前のお電話(51-1600)  
を必ずお願いします。

- ◎ 日 時 毎月の第3の木曜日  
10:00~14:00
- ◎ 場 所 センター事務局

## 令和5年度 事務局体制

事務局 長	佐藤 勝
事務局 次長	沼田 治美
係 長	阿部 一広
	笠間 邦子
	橋本 真澄美
	高橋 真澄
	長谷川 健一
	米谷 朝代



## 一緒に活動する仲間を増やそう!!

## ご紹介ください

# 活動・活躍・活気・活発の シルバーライフ。

地域社会の中で  
笑顔で働く  
充実の毎日と  
喜ばれる瞬間を  
実感しませんか！

私たちも、仲間を増やし全国目標100万人達成の取り組みに頑張りましょう!!

◎ お近くに概ね60歳以上の方で、今まで培った経験や知識、技能を生かしたいという方はいませんか？

是非、事務局へお知らせください。必要に応じ、事務局よりお仕事等の説明をいたします。

また、ご紹介いただいた会員の方には、お礼を用意しております。

## 高齢者交通安全5則

- ま…まつ 次の安全を待つ
- み…みる 周囲の状況を見る
- む…むりせず止まる 交差点などでは無理せず止まる
- め…めだつ 夜光反射材を着用して目立つ
- も…もっと知る 自分の身体機能の変化をもっと知る

## 編集後記

新型コロナウイルスの感染法上の分類で5類とされ、人々の活動も少しずつ活発になってきている様に思われます。旭川市に対する経済効果も上がってきて、シルバー人材センターの仕事もそれに合わせて増えるのではないかと期待されるところです。

今期から今まで担当理事であった木林啓爾副理事長が退任されました。広報委員会では内容の充実、文章の校正にご指導、ご助言を頂きました。心より感謝いたしております。

### 【編集委員】

- 岡部 正 (編集委員)
- 沼田 治美 (事務局)
- 近藤 初美 (編集委員)